

ニュース高等専修

文部科学省委託事業／「高専連携分野・発達障がい分野職域プロジェクト」

平成28年度成果報告会



『高専連携分野・発達障がい分野職域プロジェクト』の成果報告会が2月17日、東京・千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷で開かれました。

文部科学省委託事業・平成28年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」の1つになっています。

まず全国高等専修学校協会の清水信一会長が「文部科学省で専修学校教育の振興のあり方検討会議の議論が進められており、専門学校では職業実践専門課程、専門職大学など明るい話題が多い」と述べた上で、「我々高等専修学校は普段の教育をしっかりと発信していくことが、社会的認知の向上につながっていく。小規模の体制で事業を展開し、各校が苦勞されて今日を迎えた」と語り、委託事業に取り組んだ関係者の勞をねぎらいました。

続いて文部科学省専修学校教育振興室の牧野浩司専門官が平成29年度専修学校関係予算(案)を説明したあと、「多様な能力を持つ生徒が、事業で得た特色あるカリキュラムを待ち望んでいる。ぜひ皆さんが想定しているような成果を上げられるように期待している」とあいさつしました。

職域プロジェクト事業分野の高専連携分野事業では、①IT・ビジネス分野「高等専修学校におけるインターンシップ及びICT教材の活用による教育プログラムの開発」(大岡学園高等専修学校)②理容美容分野「サロン類型に応じた実践

的接遇ができる美容師人材育成のプログラム開発」(国際理容美容専門学校)③福祉分野「介護「高等専修学校における介護福祉人材養成のための産学官連携による実践的な職業教育の構築～地域版教育プログラムの開発・検証～」(安城生活福祉高等専修学校)の順に幹事校がそれぞれ事業成果を発表しました。

またIT・ビジネス分野では、鳥取大学大学教育支援機構の長尾博暢氏が「高等専修学校におけるインターンシップ及びICT教材の活用に関する実態」について、4年間にわたる調査のアンケート結果を発表しました。

それによると「インターンシップ等の実施状況」について、実施している学校が51.6%に対して、実施していない学校が43.9%となり、これまでの調査で初めて実施していないを上回りました。インターンシップを実施しない理由として「実施に必要な校内人員が確保できない」「カリキュラムに余裕がない」などの比率の高い回答が示されました。

このあと発達障害分野の成果報告に移り、大岡学園高等専修学校と武蔵野東高等専修学校の2校が成果報告を行いました。

大岡学園高等専修学校は「高等専修学校における発達障がい若しくは支援や特別措置が必要な生徒に対する支援システムの構築」、武蔵野東高等専修学校は(1)「混合教育(インクルーシブ教育)の教育効果の実証と普及・啓発及び発達

障害など特別に配慮が必要な生徒が学ぶための教育カリキュラムの開発・実証事業」(2)「発達障害のある生徒など特別に配慮が必要な生徒の就労支援及び卒業後の定着フォロー支援の普及事業」の2本について成果を発表しました。

具体的には(1)「カリキュラムの開発・実証事業」で、①混合教育30年間の実践記録の作成②混合教育モデルカリキュラムの構築③障害のある人への理解教育のためのカリキュラム及び教材開発を実施。また(2)のフォロー支援の普及事業では、①就労・定着フォロー支援事例集の作成②就労支援に特化したモデルカリキュラムの構築③就労に向けた教育支援の取り組みの詳細とその効果について一を行い、公開授業の開催や「混合教育30年間の実践記録」発刊に触れながら、健常者と自閉症児がともに学ぶ混合教育の成果や次年度の課題等について報告しました。



「独立行政法人日本スポーツ振興センター法」の一部を改正する法律案が平成29年4月1日に施行されます。

【改正の概要】独立行政法人日本スポーツ振興センターが行う災害共済給付制度の対象として、①高等専修学校②企業主導型保育施設③一定の基準を満たす認可外保育施設を追加すること。

第26回全国高等専修学校体育大会

熱戦繰り広げる 10競技34種目で



開会式であいさつする(左から)全国高等専修学校協会・清水信一会長、NPO高等専修教育支援協会・堀居英治理事長、赤池誠章参議院議員、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室・牧野浩司専門官

高等専修学校生のスポーツの祭典「第26回全国高等専修学校体育大会」(全国高等専修学校協会、NPO高等専修教育支援協会主催、全国高等専修学校協会体育振興委員会主管、文部科学省、山梨県、富士吉田市、富士河口湖町、公益社団法人東京都専修学校各種学校協会、専門学校新聞社後援)が7月25日から3日間、山梨県富士吉田市の富士北麓公園体育館をメイン会場に開かれました。

この祭典は、高等専修学校相互の交流とスポーツを通して健全な精神の涵養、体力の向上などが目的。職業教育に取り組む高等専修学校生にも、同年代の高校生と同様、高校総体のような“夢舞台”を与えようと選手、教職員が一体となり、平成3年から手作りの大会として開かれています。

世界文化遺産の富士山のすそ野・北麓公園体育館で開かれた開会式には、大会役員、選手ら約800人が出席。主催者を代表して全国高等専修学校協会の清水信一会長が、「皆さんが通っ

ている高等専修学校の職業教育は、後期中等教育の職業教育機関として注目を集めています。それぞれの学校で学んだことを大切に将来社会で活躍していただけたら大変嬉しいです」とあいさつしました。また、NPO高等専修教育支援協会の堀居英治理事長は「大会を支えている来賓や関係者、保護者ら一人ひとりに感謝の気持ちを伝えましょう」と呼びかけたあと、選手全員で「ありがとうございます」と大きな声であいさつを交わしました。

続いて来賓を代表して、赤池誠章参議院議員が「今年はリオ五輪・パラリンピックが開かれる年で、この年の大会に出場できる皆さんは、一生の思い出になると思います。日ごろの練習の成果を存分に発揮してください」と選手を激励しました。また、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室の牧野浩司専門官は「仲間とともに汗を流し、励まし合いながら過ごした時間は一生の思い出となります。大会に参加できる喜びと感動、そして応援してくれる家族やご指導いただいた先生に感謝の気持ちを忘れず、はつらつとしたプレーに期待します」と白鳥綱重室長の祝辞を代読しました。

これに答えて、東放学園高等専修学校(東京)の山下和輝選手、安城生活福祉高等専修学校(愛知)の片岡彩音選手が「富士山の麓で仲間を信じ、自分を信じて全力でプレーすることを誓います」と力強く選手宣誓を行いました。

今大会には福島、東京、愛知、兵庫など10都府県20校の選手が参加。軟式野球、バレーボール、バスケットボール、陸上競技、バドミントン、自転車競技など10競技で熱戦が繰り広げられました。

競技の結果、大竹高等専修学校(東京)が女子陸上競技400mリレー、同自転車競技団体、同駅伝競走、大和商業高等専修学校(神奈川)が軟式野球、フットサル、男子バドミントンの団体がそれぞれ3種目を制したほか、町田調理師専門学校高等課程(東京)が男子バレーボール、女子バドミントン団体、富士コンピュータ専門学校高等課程(静岡)が女子バレーボール、同バスケットボール、野田鎌田学園杉並高等専修学校(東京)が男子陸上競技400mリレー、スポーツ吹矢団体でそれぞれ優勝しました。

なお、各競技の準優勝チームには専門学校新聞社からトロフィーが贈られました。



成績結果

■軟式野球

①大和商業高等専修学校②ヨコスカ調理製菓専門学校高等課程

■バレーボール

【男子】①町田調理師専門学校高等課程②大竹高等専修学校

【女子】①富士コンピュータ専門学校高等課程②安城生活福祉高等専修学校

■バスケットボール

【男子】①ヨコスカ調理製菓専門学校高等課程②大和商業高等専修学校③専門学校野田鎌田学園高等課程

【女子】①富士コンピュータ専門学校高等課程②町田調理師専門学校高等課程③大竹高等専修学校

■卓球

【男子】▶団体①生蘭高等専修学校②武蔵野東高等専修学校

▶個人①大山将人(生蘭高等専修学校)②高山莉玖(東朋高等専修学校)③根本優毅(郡山学院高等専修学校)石垣竜也(生蘭高等専修学校)

【女子】▶団体①郡山学院高等専修学校②生蘭高等専修学校

▶個人①高橋涼夏(大森家政専門学校高等課程)②北村彩花(大和商業高等専修学校)③三原里奈(安城生活福祉高等専修学校)大堀紗季(郡山学院高等専修学校)

■フットサル

①大和商業高等専修学校②大竹高等専修学校

■自転車

【男子】▶団体①専修学校中部国際自動車大学校高等課程②野田鎌田学園並高等専修学校

▶個人①鈴木達也(専修学校中部国際自動車大学

校高等課程)②石原直樹(同)③田邊恭太郎(野田鎌田学園並高等専修学校)

【女子】▶団体①大竹高等専修学校②野田鎌田学園並高等専修学校

▶個人①下田瞳羽(大竹高等専修学校)②中村桃姿(野田鎌田学園並高等専修学校)③石崎さくら(同)

■バドミントン

【男子】▶団体①大和商業高等専修学校②豊橋ファッション・ビジネス専門学校高等課程

▶個人①鈴木馨月(大和商業高等専修学校)②小林将貴(同)③伊藤孔(同)グエン・ニャット・ティエン・フック(同)

【女子】▶団体①町田調理師専門学校高等課程②生蘭高等専修学校

▶個人①三浦詩織(町田調理師専門学校高等課程)②高木二葉(同)③岡田紗步(大竹高等専修学校)佐藤歩未(町田調理師専門学校高等課程)

■スポーツ吹矢

▶団体①野田鎌田学園並高等専修学校②武蔵野東高等専修学校

▶個人①荒田啓暉(野田鎌田学園並高等専修学校)②岩川浩樹(同)③齊木慶太(同)

■駅伝競走

【男子】①武蔵野東高等専修学校②生蘭高等専修学校③東朋高等専修学校

【女子】①大竹高等専修学校②東朋高等専修学校

■陸上

▶種目別成績結果

【男子】▶100m決勝=①寛沢太吾(郡山学院高等専修学校)②藤本隼(大和商業高等専修学校)③松山隼人(日

本芸術高等学園)

▶800m決勝=①池水勇輝(富士コンピュータ専門学校高等課程)②蓮沼千尋(武蔵野東高等専修学校)

③山谷祥(生蘭高等専修学校)

▶2.4km決勝=①中島幸紀(武蔵野東高等専修学校)②山谷祥(生蘭高等専修学校)③山谷谷(同)

▶走り幅跳び=①藤本隼(大和商業高等専修学校)②村井勇輝(大竹高等専修学校)③佐久間海都(大和商業高等専修学校)

▶砲丸投げ=①菅谷ニコ(専門学校野田鎌田学園高等課程)②張替正司(同)③内藤嵩丈(生蘭高等専修学校)

▶4×100mリレー決勝=①野田鎌田学園並高等専修学校②専門学校野田鎌田学園高等課程③郡山学院高等専修学校

【女子】▶100m決勝=①植村未来(大和商業高等専修学校)②下田瞳羽(大竹高等専修学校)③榎枝敦子(専門学校野田鎌田学園高等課程)

▶800m決勝=①石野結子(大竹高等専修学校)②池田椿(専門学校野田鎌田学園高等課程)③山本千夏(大竹高等専修学校)

▶2.4km決勝=①石野結子(大竹高等専修学校)②山本千夏(同)③竹村明結美(東朋高等専修学校)

▶走り幅跳び=①松藤玲渚(大和商業高等専修学校)②榎枝敦子(専門学校野田鎌田学園高等課程)③中村桃姿(野田鎌田学園並高等専修学校)

▶砲丸投げ=①植村未来(大和商業高等専修学校)②村田真郁(専門学校野田鎌田学園高等課程)③落合遥(大竹高等専修学校)

▶4×100mリレー決勝=①大竹高等専修学校②専門学校野田鎌田学園高等課程

平成 28 年度 高等専修学校への都道府県の助成状況

県名	運営費補助 @…生徒一人あたり	設備費 補助	生徒へ の助成	授業料 軽減	本会 会員校数	H28 高等課程 生徒数
☆ 北海道	学校法人立指定校・技能連携校 @63,201 円 その他学校法人立 @39,938 円		○	○	5	1,290
☆ 青森	学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @27,905 円 非学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @12,620 円		○	○		212
岩手	学校法人立 @35,960 円		○		3	138
☆ 宮城	学校法人立指定校 1校60万円と @32,462 円 その他学校法人立 @20,186 円	○			1	223
秋田			○			85
山形	学校法人立指定校・技能連携校 @71,699 円 学法立以外 @11,048 円		○	○	2	30
	私立高等学校等特別支援教育事業補助金 高等課程（特別支援教育支援員の配置）@1,800,000円×1校					
福島	学校法人立指定校 @46,000 円 その他学校法人立 @22,500 円 非学校法人立指定校 @15,000 円 その他非学校法人立 @7,500 円			○	7	907
☆ 茨城	学校法人立 @70,000 円		○	○	1	634
栃木	学校法人立 専修学校及び各種学校総額 44,410千円				2	601
☆ 群馬	学校法人立・財団法人立指定校 @80,400 円 学校法人立・財団法人立非指定校 @20,040 円		○	○	3	373
☆ 埼玉	法人立 @77,620 円		○	○	3	783
☆ 千葉	学校法人立 @171,564 円		○	○	4	793
☆ 東京	学校法人立 @159,800 円 非学校法人立 @53,200 円 私立専修学校障害児教育事業費補助金（1） @392,000 円	○	○	○	30	2,849
☆ 神奈川	学校法人立 @132,547 円 非学校法人立 @21,800 円			○	7	1,582
☆ 新潟	学校法人立 @22,200 円		○	○		137
☆ 富山	知事特認校加算 350万円 学校法人立 1校100万円 学生生徒割（専修学校総額） 470万円	○	○		1	156
石川	学校法人立指定校・非指定校含む @27,100 円	○	○			66
福井	学校法人立指定校 @45,000 円			○	2	112
山梨	学校法人立（県内生） 1校50万円と @4,000 円 学校法人立（県外生） 1校50万円と @2,000 円					87
長野	学校法人立（3年制一般補助） @46,440 円 学校法人立（3年制特別補助として加算） @30,000 円		○	○	2	264
☆ 岐阜	学校法人立技能連携校 @60,801 円		○	○	6	776
☆ 静岡	学校法人立 @90,710 円	○	○		11	1,324
☆ 愛知	学校法人立 @134,766 円 非学校法人立 1校978,600 円		○	○	25	7,345
三重	学校法人立指定校 1校15万円と @28,360 円 学校法人立非指定校 @18,850 円		○	○		891
滋賀	学校法人立技能連携校 @80,000 円		○		1	100
京都	学校法人立（修業年限3年以上） 1校270万円 学校法人立（修業年限3年未満） 1校230万円 複数学科加算分 1学科55万円	○	○	○		524
大阪	学校法人立 @306,800 円	○	○	○	23	5,451
☆ 兵庫	学校法人立大学入学資格付与校 @140,792 円		○	○	20	1,656
☆ 奈良	学校法人立 1校130万円と @35,000 円			○	7	318
和歌山	学校法人立 @30,000 円	○				100
☆ 鳥取	（専修学校全体）17校 総額8,661万3千円			○	6	364
☆ 島根	学校法人立指定校 @103,661 円 学校法人立非指定校 @19,040 円	○	○	○		127
岡山		○	○		2	278
広島	学校法人立（3年制） @36,000 円			○	5	1,076
山口	学校法人立指定校 @70,000 円		○	○	1	557
徳島			○	○	1	222
香川			○			172
愛媛				○		182
高知	学校法人立 @21,160 円			○	2	47
福岡	学校法人立指定校 @22,500 円	○	○		4	2,547
佐賀	学校法人立 @11,262 円	○	○	○	3	860
長崎	学校法人立 @6,300 円					439
熊本	学校法人立指定校 @15,000 円		○	○	4	835
大分						412
☆ 宮崎	学校法人立 @266,700 円		○		2	592
鹿児島	（学校法人立専修学校全体） 総額3,322万1千円				2	90
☆ 沖縄	学校法人立指定校 @70,000 円			○	2	355

(1) 交付年度5月1日現在障害児が在籍。

(☆印は前年度比単価等が増額した都道府県)

H28 会員校数

H28 生徒数

200

38,962

発行：全国高等専修学校協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25（私学会館別館）

TEL.03(3230)4814 FAX.03(3230)2688